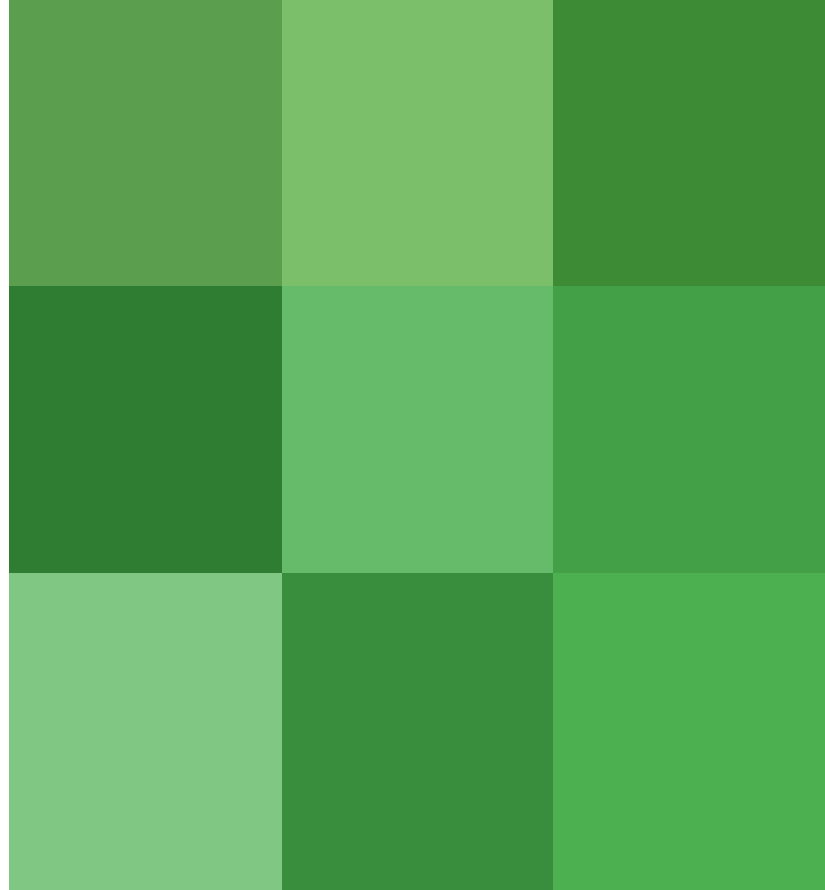




# スケッター事例集

2026/3/31



# スケッターの目指す世界

既存人材の奪い合いではなく、支える人を共に増やしていく



## 互助文化の復活

福祉をはじめとする地域  
インフラを維持する文化は  
昔の日本社会にあった。  
互助文化を再構築したい。



## つながりの再構築

SNSの普及で「つながり」は作りやすくなったが  
「助け合い」の温かさが  
希薄化しており、ここを  
再興したい。



## ちょっとのお手伝い

年齢・業種・経歴に  
とらわれず、誰もが自分  
のできることで介護・福  
祉に関わる仕組みを提  
供したい。

一億総福祉人を再興する

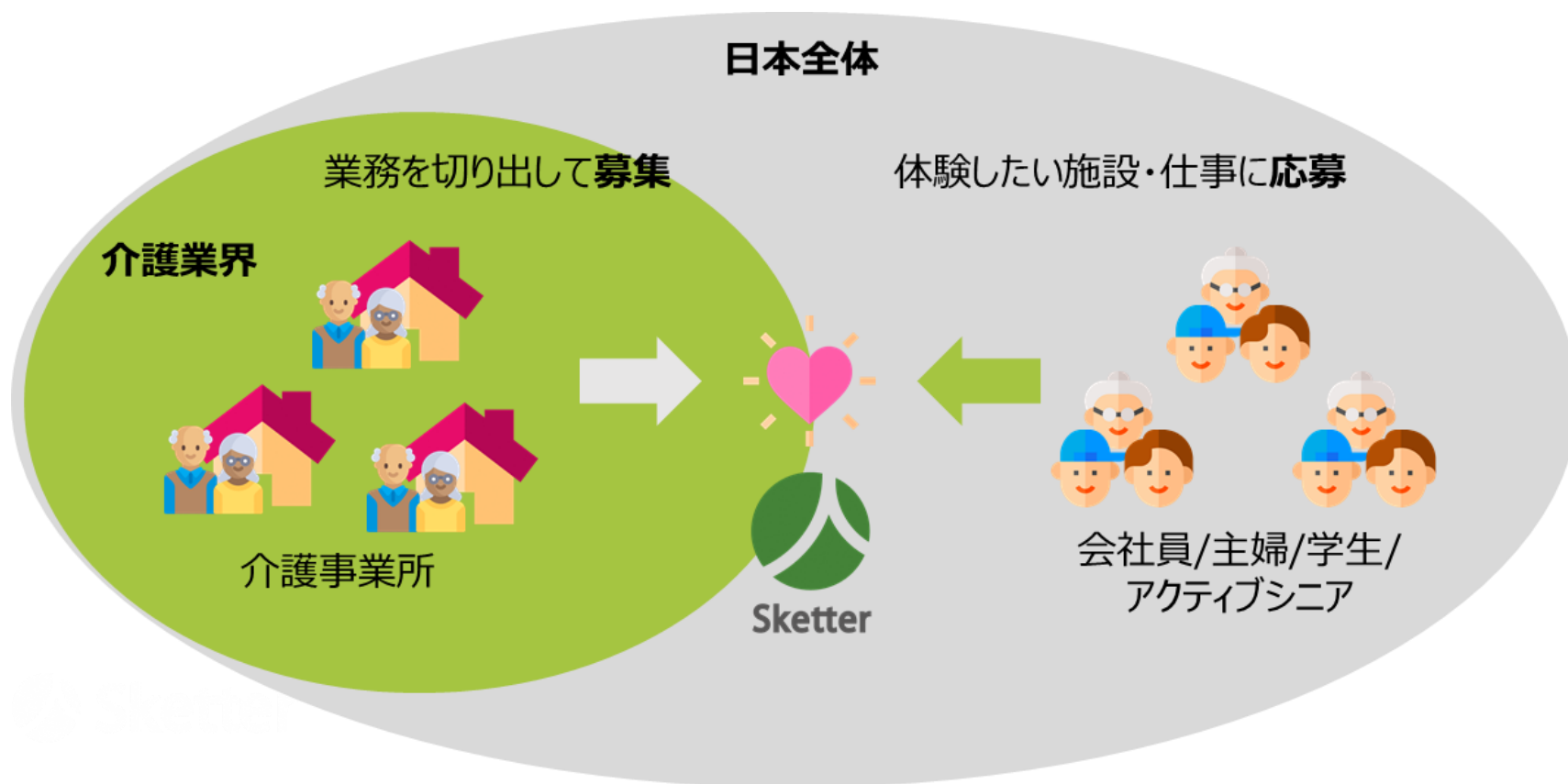
# スケッターとは

地域に関する様々なお手伝いを依頼したい  
**〈事業所・行政〉**と**〈地域住民〉**  
をマッチングするサービスです。



# 事業概要 スケッターとは

不足分を介護職員だけでカバーする事が難しいため、住民のちょっとした「お手伝い」を通じて地域全体でカバーする「令和時代の互助インフラ」を目指す



# 事業者とスケッターのマッチングの流れ



## ①お仕事の作成

「お仕事作成」で、条件や募集したい内容を入力。

スケッターの応募を待ちます



## ②スケッターから応募

スケッターから応募が来たら、プロフィールを確認。

承諾したらマッチング。

事前にメッセージで確認事項等を連絡することも可能です。

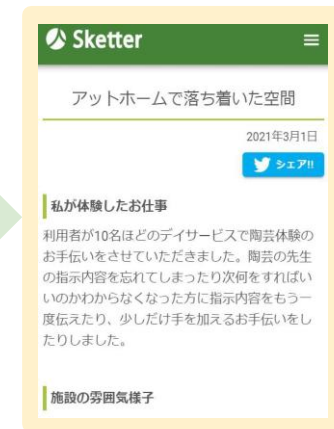


## ③お仕事当日

募集した内容に沿ってスケッターにお仕事を行ってまいります。

お仕事が終了したら、お礼の言葉と報酬を手渡しして終了です。

※法人の規定等により手渡しが難しい場合はご相談ください。



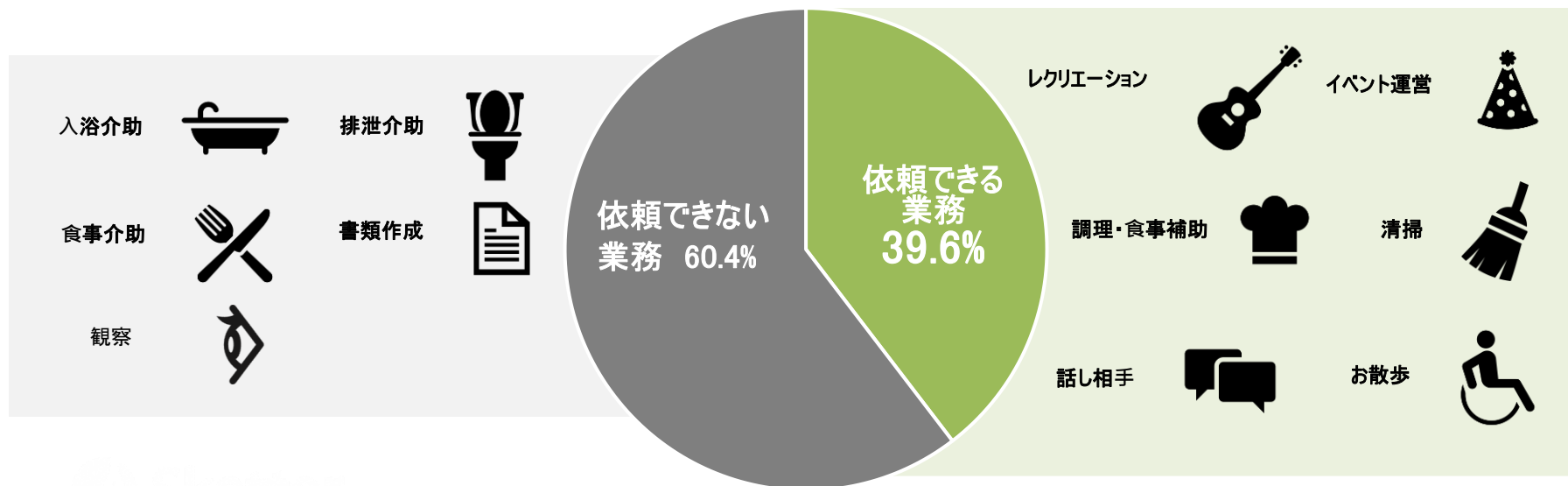
## ④お仕事終了後

スケッターへの評価とコメントを記入します。

コメントを書くことで、また来てくれるきっかけづくりにつながります。

# 介護施設の業務のうち40%は未経験者に依頼可能

実は介護施設には資格がなくても手伝える仕事が多くあります  
スケッターはそんな業務を切り出してマッチングします



# 事業者メリット

## 主な4つのメリット

### 人材確保



若手人材の確保  
魅力的な人材との出会い  
ミスマッチのない採用

### 業務効率化



スケッターに身体介助以外の  
業務を依頼することで、  
業務効率化  
介護職員の負担大幅減

### 利用者 満足度向上



レクバリエーションの増加  
業務負担が軽減され、  
職員はサービスの質の向上に  
専念できる

### 地域交流



地域共生社会の構築  
地域密着の  
きっかけづくり

# 業務の切り出し方

ゴール設定・目的（課題）	目的の時間をつくるために任せる業務	チェック欄
利用者のQOL、満足度、充実感を高めたい (施設のサービス力向上・自立支援)	配膳下膳・お皿洗い	
	下膳・お皿洗い	
	お茶出し	
	話相手・見守り	
	似顔絵プレゼント（誕生日）	
	ガーデニング（庭の手入れ）	
	福祉ネイル	
	散歩の同行・外出サポート	
	音楽レク	
	テーブルゲーム・カードゲームのお相手	
	特技の披露（レク）	
	利用者の内職のお手伝い	
	自分史の聞き書き	
	塗り絵レク	
	囲碁・将棋・麻雀のお相手	
	お菓子作り	
	旅行の付き添い	
	手芸レク	
	スマホ教室	
	脳トレドリルのお手伝い、公文の先生	
	ヨガ講師	
	社交ダンスのお相手	
	コンサートの企画・実施	
	風船バレー	
	陶芸教室	
	音読・朗読レク	
	習字・ペン字の講師	
	大道芸、マジックショー	
	語学の講師	
	全国からお菓子の贈り物	
似顔絵プレゼント（誕生日）		

← お手伝い  
カタログ

多様な地域人材に  
関わってもらうために、  
多様な切り口を用意する。

過去にマッチングした事  
例などを紹介しながら、  
依頼できる・したい内容  
をイメージしてもらう

# 好事例カテゴリー 目次

---

01	<b>リピーター定着型</b> No.01~No.02	2件
02	<b>業務切り出し先進型</b> No.03	1件
03	<b>革新的案件開拓型</b> No.05	1件
04	<b>多世代交流×学生活用</b> No.06~No.07	2件

# 好事例 A

#来るたびに直接御礼 #入居者の声をフィードバック #ほぼ毎日来るリピーター誕生

本事例は、管理者がスケッターの来訪のたびに直接顔を出して御礼を伝え、入居者の反応を丁寧にフィードバックし続けることで、ほぼ毎日来るリピーターを含む2名が定着した事例である。

## 施設プロフィール

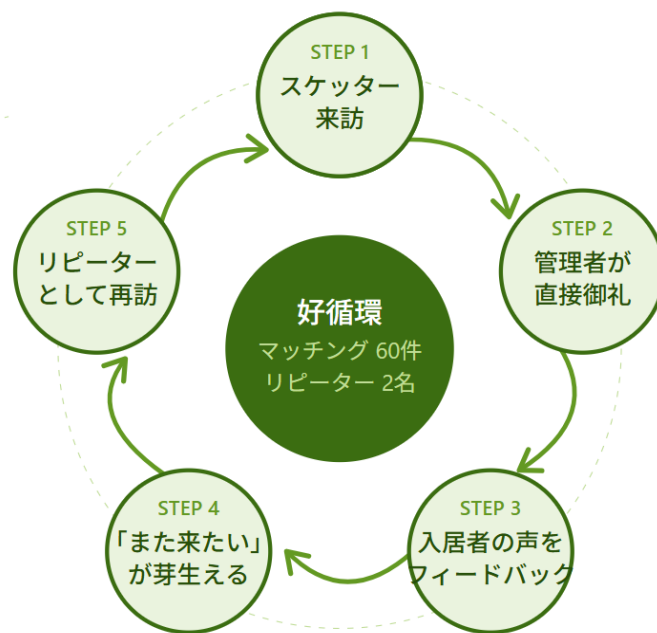
施設種別	特別養護老人ホーム
登録日	2025年10月
課題	夕食・朝食補助業務による職員負担
取組内容	配膳・洗濯物回収・傾聴・見守り
案件種別	複数案件（配膳メイン）
効果	マッチング60件・2名のリピーター定着（1名はほぼ毎日来訪）

## 事業所の変化

- 2名のリピーターが定着。男性1名は就職決定後も休みの日に来続けている
- 女性1名はほぼ毎日来訪する状態に。職員負担の軽減と話し相手の提供を同時実現
- 同法人のデイサービスへの横展開も担当者が自主的に検討を開始

## なぜリピーターが定着したのか？

A施設で起きた「好循環」のメカニズム



この循環が4ヶ月で  
こんな成果に

60件マッチング

2名定着

うち1名はほぼ毎日

# 好事例 B

#コロナ後ボランティア復活 #1か月フォロー→自立化 #近所リピーター定着

本事例は、コロナ以降途絶えていた傾聴ボランティア活動をスケッターで再開。「最初の1か月は側についてフォロー、その後は自立」という段階的な育成で安定したリピーターを定着させた事例である。

## 施設プロフィール

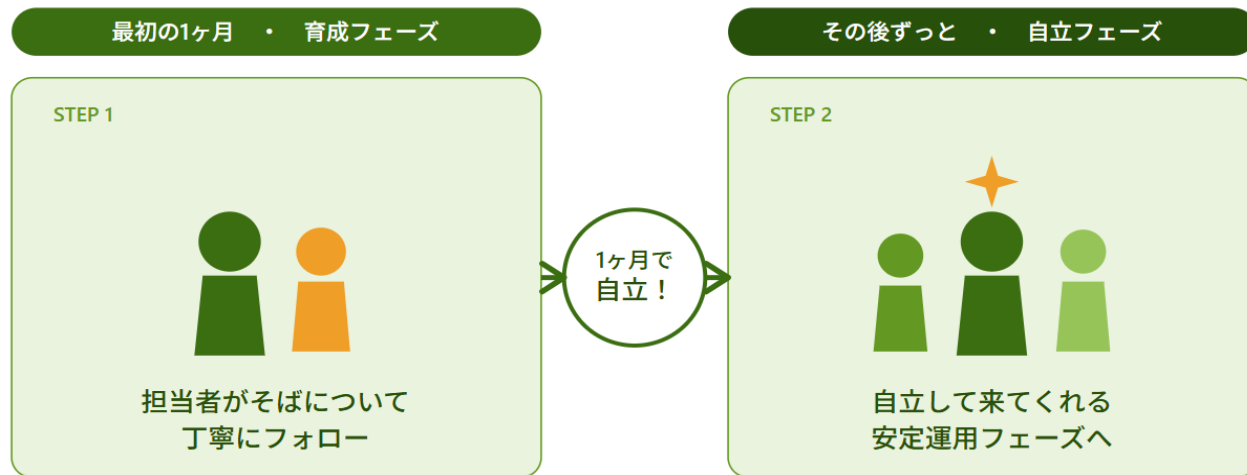
施設種別	地域密着型介護老人福祉施設
登録日	2025年10月
課題	コロナ後に途絶えた傾聴ボランティアの再開
取組内容	傾聴・配膳・見守り・レク補助
案件種別	洗い物・配膳（傾聴含む）
効果	マッチング60件・近所リピーター定着・学生受入も実現

## 事業所の変化


- ・ コロナ後に途絶えていた「地域住民が施設に来る文化」が復活
- ・ 窓口担当者1名でも安定運用できる体制を確立
- ・ 学生スケッターの受入で多世代交流の価値を実感

## なぜ地域文化が復活し、リピーターが定着したのか？


B施設の「育成→自立」モデル — 1ヶ月の先行投資で長期運用が回る




### ▶ さらに広がった3つの成果

 **地域文化の復活**

コロナ前の「住民が施設に来る文化」が戻った

 **1名で安定運用**

窓口担当者1名でも回せる体制を確立

 **多世代交流の発見**

学生スケッターを受入  
「反応が段違い」と実感

「最初の1か月は側についてフォロー。今は自立して来てくれている」「若い方の反応が段違いだった」  
— 施設担当者

この「育成→自立」モデルが  
こんな成果に

60

件マッチング

近所リピーター定着

学生受入も実現

#配膳洗い物に特化 #業務切り出し研修で登壇 #須坂市の旗手事例 #初案件公開で即応募

本事例は、業務切り出し研修で他施設への成功事例共有も担った須坂市の旗手施設。洗い物・配膳という明快な案件設定で公開直後から応募が集まり、県内最多96件のマッチングを達成した事例である。

## 施設プロフィール

施設種別	地域密着型特別養護老人ホーム
登録日	2025年10月
課題	コロナ後の地域ボランティア接点
取組内容	洗い物・配膳・シーツ交換・傾聴
案件種別	洗い物・配膳
効果	<b>マッチング96件（長野県最多）</b> <b>業務切り出し研修で他施設に事例共有</b>

## 事業所の変化

- 公開直後から応募が集まり現場が「こんなに来るとは」と驚くほどのスタートを切った
- 業務切り出し研修で実際の案件事例を他施設に共有
- 月額1～1.5万円なら契約したいとアンケートで前向きな意向を示した



「事業所内にもしっかり周知していない状況で案件を出してしまったが、応募が来てびっくりしました。」  
—施設担当者

★ポイント 案件をシンプルに絞ることが、最も再現しやすい成功の型

この「シンプル設計」が  
こんな成果に

96件マッチング

長野県最多

他施設に事例共有

# 好事例 D

#温泉券を謝礼に #全国初の地域資源型謝礼モデル #中学生の居場所づくり #社協モデル

本事例は、謝礼として現金ではなく町内温泉施設の入浴券（700円相当）を活用するという全国初のモデルを試行。中学生の居場所づくりとの複合的な活用が実現した事例である。

## 施設プロフィール

施設種別	通所介護
登録日	2025年10月
課題	謝礼原資の工夫・地域資源の活用
取組内容	中学生の居場所づくり補助・傾聴・見守り
案件種別	その他（地域活動）
効果	マッチング15件・温泉券謝礼モデルを全国初開拓

## 事業所の変化

- 温泉施設の入浴券（700円相当）を謝礼として活用する全国初モデルを試行
- 現金謝礼が難しい施設への新たな活用経路を開拓
- 中学生の居場所づくりと福祉施設の複合的な活用が実現

## なぜ全国初の謝礼モデルを開拓できたのか？

E施設の「地域資源×複合活用」モデル — 小海町・通所介護の革新事例

全国初を生んだ「2つの革新」



施設にある様々な資産を活用することで、ボランティア側もそこに来たい行きたいを演出

この革新モデルが  
こんな成果に

15件マッチング

全国初謝礼モデル

新たな活用経路

# 好事例 F

#複数案件を同時展開 #多くの地域の方とつながりたい #入所+通所の2部門活用 #前月比+63件

本事例は、「できるだけ多くの地域の方とつながりたい」という明確な方針のもと、入所・通所の双方で多様な案件を展開。前月比+63件という急成長を遂げ、県内最多94件のマッチングを達成した事例である。

## 施設プロフィール

施設種別	介護老人保健施設
登録日	2025年10月
課題	人手不足・地域との接点不足
取組内容	配膳・シーツ交換・レク補助・多彩な案件
案件種別	複数案件
効果	マッチング94件・学生交流実現

## 事業所の変化

- 入所・通所の2部門にまたがる案件展開で多様な人材と継続的に接点を持てた
- 「できるだけ多くの地域の方とつながりたい」方針を明確化
- 学生スケッターの受入で「若い人への利用者反応が格段に良い」と実感

## 前月比+63件 — なぜ1ヶ月で激増できたのか？

前月 → 今月の劇的な急成長

前月 — 2026/2

1ヶ月で

数か月後

31 件 → +63 件 → 94 件

★ 成長の3要素 明確な方針「多くの方とつながりたい」× 入所+通所の2部門 × 学生スケッター活用

入所/通所の両建てで募集したことに加え、学生の受け入れもできるような“運営マニュアル”を作成・実行したことで再現性が生まれた

# 好事例 G

#学生スクーターの受入 #若い方の反応が段違い #節分レク #多世代交流

本事例は、配膳・洗い物の主力案件に加えて学生向け案件を設定し多世代交流を実現。「若い方のほうが利用者の反応が段違いだった」と職員が実感した事例である。

## 施設プロフィール

施設種別 地域密着型特別養護老人ホーム

登録日 2025年10月

課題 若年層との多世代交流機会の創出

取組内容 配膳補助・見守り(学生向け案件)

案件種別 洗い物・配膳 (学生向け)

効果 学生受入で「若い方の反応が段違いに良かった」と職員が実感

## 事業所の変化

- ・コロナ前のボランティア活動を意識した案件構成でスタッフが自然に受入に前向きに
- ・学生スクーターの受入でも利用者の笑顔が増加
- ・節分行事等やレク補助で多世代交流が実現

## なぜ、若者が来て定着したのか

G施設の「学生案件の追加」モデル — 多世代交流の発見と定着

### 案件構成の進化と気づき

#### STEP 1・ベース

配膳・洗い物の主力案件

してもらいたいことを明確に！

#### STEP 2・追加

学生向け案件を意図的に追加

節分行事のレク補助など、多世代交流を狙った案件を上乘せ

+



お手伝い  
を通じた  
気づき

「若い方の反応が段違いだった」— 利用者の笑顔が増加し、多世代交流の場として定着